

NPO法人
神奈川県フードバンク・プラス

横須賀市を拠点に横浜市金沢区、三浦市、逗子市
で活動を展開しております

①設立年月

2017年7月27日

②団体の目的・活動内容

社会の構造変化による生活困窮者、高齢者、一人親家庭の増加に対して他のフードバンク団体と協力しながら、食品の提供及び生活支援に関する事業を行い、食品ロス削減を通じて地域社会の福祉増進に寄与する事を目的として活動しております。

③ **フードバンクとは**

フードバンク活動全体像

フードバンクとは、安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

フードバンクは、アメリカでは 1967 年に開始され現在では 200 以上のフードバンク団体が活動しています。また、フランスでは 1984 年に開始され現在では 100 近くのフードバンク団体が活動しています。他にも、カナダ、イギリス、オーストラリアなど世界中の様々な国でフードバンク活動がおこなわれています。

日本では 2000 年以降フードバンクが設立され始めましたが、フードバンク活動の背景となる「食品ロスの問題」「貧困問題」への認識が十分に浸透していないこともあり、まだ活動が十分に認知されているとは言い難い状況にあります。

フードバンク 活動全体像

活動の背景にある問題

食品ロス問題

貧困問題

フードバンク活動プロセス

食品寄贈元
食品製造業者
食品卸売業者
小売・飲食店
農家
一般家庭
:

印字ミス、包装破損、
販売期限切れ等

品質に問題のない
食品の寄贈

△
地域住民
との連携

**フードバンク
団体**

福祉施設や
生活困窮世帯へ
食品無償提供

△
行政との連携

食品寄贈先
児童養護施設
高齢者施設
障がい者施設
炊き出し
貧困世帯
:

▽
子供の成長
への支援

フードバンク活動の効果

- ・ 社会貢献によるモチベーション向上
- ・ 廃棄コスト削減
- ・ CSR活動

- ・ 健康的な食事の確保
- ・ 食費以外の生活費の捻出
- ・ 社会からの孤立回避

令和3年度(2021年度)活動実績

○入荷数量 29,122 kg

フードバンクかながわ、CGCジャパン、味の素、コカ・コーラ、フードバンク愛知等
40関係官庁・企業・個人

○配布数量 27,537 kg (9,000人/年)

1.コロナ禍による生活困窮世帯への食料配布会

925世帯(2,760名)/年 6,342 Kg

2.一人暮らし高齢者(公営団地)への食料配布会

3団地 200名/回 4,761 Kg

3.ひとり親世帯への食料配布

2団体 50世帯(120名) 659 Kg

4.子ども食堂等団体(横浜市金沢区を含む)

50団体 190世帯 15,775 Kg

		配布先 区分 (2021/4月～2022/3月)													
															単位: g
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	対応日数	10	10	12	11	11	9	10	9	16	10	9	9	126	
	対応回数	11	11	12	12	13	9	16	16	16	17	18	21	172	
	対応先	15	16	17	13	17	18	16	16	14	19	18	21	200	
団体支援	団体配布量(g)	1,677,119	764,098	820,611	852,951	684,299	1,366,235	1,111,492	1,279,520	887,580	986,167	1,066,239	2,028,281	13,524,592	
	内生活福祉課	159,000	40,334	87,386	45,168	63,935	50,955	21,154	17,165	120,257	55,868	33,000	21,680	715,902	
個人配布会 (コロナ禍)	対応世帯	69	71	73	78	76	72	73	79	80	81	82	91	925	
	配布量(g)	472,171	551,538	664,062	511,300	477,890	367,912	573,393	605,657	613,310	378,913	483,904	642,670	6,342,720	
かもめ団地	配布件数	70		65		65	30	65		65		65		425	
	一人当たり	5.16		3.44		3.06	2.36	3.44		4.19		2.19		24	
	配布量(g)	361,060		223,385		199,204	70,660	223,730		272,025		142,640		1,492,704	
	配布件数		60		60		60		60		60		65	365	
津久井浜団地	一人当たり		2.93		1.68		2.75		5.46		3.01		3.63	19	
	配布量(g)		175,720		100,908		165,000		327,658		180,180		235,655	1,185,121	
	配布件数	80			70		70		70		70		70	360	
走水団地	一人当たり	7.52			7.47		3.87		4.97		5			29	
	配布量(g)	601,244			522,970		271,076		347,912		350,000			2,093,202	
	配布件数				30	20	20							70	
浦賀地区社協	一人当たり				3.46	3.79	5.7							13	
	配布量				103,680	75,750	113,250							292,680	
個人配布	配布先	秋本6名・大石	秋本・真境名	杉野・村尾	杉野	徳梅・秋本	平田・秋本	秋本・真境名	秋本	高野	星野・折原他	折原・大石他	ボランティア活動	-	
	配布量(g)	54,504	29,842	8,852	8,220	4,774	57,120	28,406		4,690	67,755	17,635	151,400	433,198	
														-	
														-	
														-	
対応件数		234	147	155	221	158	180	224	155	159	230	165	247	2,275	
総配布量 (g)		3,166,098	1,521,198	1,716,910	1,996,349	1,469,847	2,102,677	2,321,347	2,212,835	1,777,605	1,960,927	1,710,418	3,408,006	25,364,217	

* 横浜地区は含まず





食品ロス削減を阻む国内フードバンク団体の共通課題

- ①インフラ整備(事務所・倉庫・配送用車両等)
- ②人手不足(ボランティア)
- ③運営費の不足
- ④ノウハウの不足
- ⑤認知度不足
- ⑥食品寄贈に伴う法的リスク
- ⑦行政との連携不足

フードバンク団体の共通課題への解決策

- ①インフラ整備(事務所・倉庫・配送用車両等)
令和3年1月より三春町に事務所兼倉庫を設置する
- ②人手不足(ボランティア)
当初のボランティアが友人を紹介(20名登録)
- ③運営費の不足
インターネットより助成金団体を探し応募する
- ④ノウハウの不足
他のフードバンク等から運営方法などを学ぶ
- ⑤認知度不足
地区社協等の広報紙で宣伝する
- ⑥食品寄贈に伴う法的リスク
問題発生時は自法人で責任を持つ
- ⑦行政との連携不足
市生活支援課、地区社協等連携を取る